

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number :

55-053147

(43)Date of publication of application : 18.04.1980

(51)Int.CI.

H02K 5/22

H02K 3/50

(21)Application number : 53-123544

(71)Applicant : HITACHI LTD

(22)Date of filing : 09.10.1978

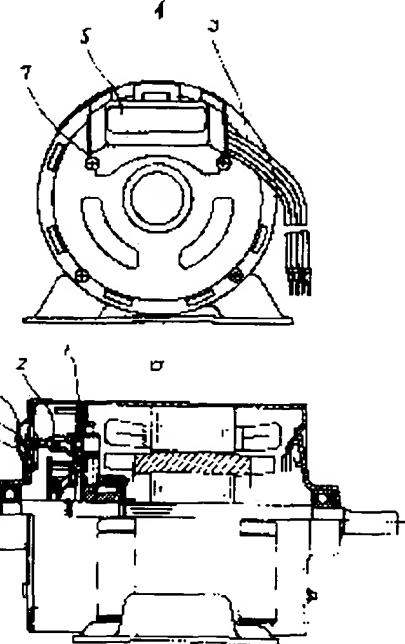
(72)Inventor : SATO TOMIO

## (54) DEVICE FOR HOLDING DOWN LEAD WIRES OF MOTOR

### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To protect the coating of lead wires from deformation and damage and prevent the connected parts of the lead wires from being tensioned, by passing the wires through an insulating plate and thrusting the insulating plate between an end bracket and a cover to fix the insulating plate.

**CONSTITUTION:** Tab terminals 1 and lead wires 3 are connected to each other through receptacles 2. After the lead wires 3 are passed through an insulating plate 4, this plate is thrust between an end bracket 6 and a cover 5 by clamp screws 7 so that the plate 4 is fixed. When a tensile force acts on the lead wire 3, the force is carried by the wire passing hole of the insulating plate 4. Therefore, the coating of the lead wire is protected from deformation and damage and the tensile force is prevented from affecting the part of the wire between the receptacle 2 and the tab terminal 1.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

## ⑫ 公開特許公報 (A)

昭55-53147

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>  
H 02 K 5/22  
3/50識別記号  
H 02 K 5/22  
3/50序内整理番号  
7052-5H  
6728-5H⑭ 公開 昭和55年(1980)4月18日  
発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 3 頁)

## ⑮ 電動機の口出し線押さえ装置

株式会社日立製作所多賀工場内

⑯ 出願人 株式会社日立製作所  
東京都千代田区丸の内1丁目5番1号

⑰ 特願 昭53-123544

⑰ 代理人 弁理士 福田幸作

⑯ 出願 昭53(1978)10月9日

⑯ 発明者 佐藤登美雄

日立市東多賀町1丁目1番1号

## 明細書

発明の名称 電動機の口出し線押さえ装置

## 特許請求の範囲

1. 電動機の口出し線タブ端子へ口出し線に加締めたりセプタクルを接続するようにしたものにおいて、上記口出し線を絶縁板に通し、その絶縁板を、当該電動機のエンドプラケットとカバーとの間で押さえ付けて構成したことを特徴とする電動機の口出し線押さえ装置。

## 発明の詳細な説明

本発明は、電動機の口出し線押さえ装置に係り、特に、電動機の口出し線をリセプタクルとタブ接続を行なう場合に好適な、電動機の口出し線押さえ装置に関するものである。

従来の、電動機の口出し線押さえ構造は、当該口出し線をエンドプラケットとカバーとの間で押しつけることにより押さえていたものであるが、その口出し線を長期間、押しつけていると、ビニールなどの口出し線被覆が、永久変化を来たして押さえ付けている効果が全くなくなつて、引張り

力にたいする抵抗力がなくなり、例えば運搬時に口出し線を引つ張つたような場合、加締め構成における接続部に力が加わり破損するという欠点があつたものである。

本発明は、上記従来のものにおける手法の欠点を解消し、電動機口出し線を絶縁板を通して押さえ付けるようにしたことにより、良好な口出し線押さえを所期することができる電動機の口出し線押さえ装置の提供を、その目的とするものである。

本発明の特徴は、電動機の口出し線タブ端子へ口出し線に加締めたりセプタクルを接続するようにしたものにおいて、上記口出し線を絶縁板に通し、その絶縁板を、当該電動機のエンドプラケットとカバーとの間で押さえ付けて構成した電動機の口出し線押さえ装置にある。

次に、本発明の一実施例を図面を参照して説明をする。

ここで、第1図のイは、本発明装置の一実施例に係るものを感じた電動機の正面図、同図のロは、

(1)

(2)

その一部断面側面図であり、第2図は、そのカバーを取りはずし、その口出し線の引出し様子を示す部分正面図、第3図のイは、同じくその口出し線を絶縁板に通したものの側断面図、同図のロは、その正面図である。

図において、1は、口出し線タブ端子、2は、リセプタクルであり、3は、口出し線、4は、たとえば絶縁ボードの如き絶縁板、4aは、穴部で、5は、カバー、6は、エンドプラケット、7は、締め付けねじである。

すなわち、電動機の口出し線タブ端子1へ、口出し線3に加締めたりセプタクル2を接続し、この口出し線3を絶縁板4の穴部4aへ通すようにしたものである。

そして、この絶縁板4を、エンドプラケット6とカバー5との間に、締め付けねじ7により押さえ付けられるようにしたものである。

上記の構成により、第1図のイあるいは第2図のように口出し線3を側方の引出し方向に引つ張てもその力は、穴部4aの周側で受けるため当該

(3)

特開 昭55-53147(2)  
端子接続部には加わらないものである。また、口出し線3に加わる力が無くなれば、一時、凹んだり横方向に広がつたりというように変形した口出し線被覆部分も、元の状態になるものである。

このように、上記実施例の構成によれば、口出し線の引張り強度を充分に保つことができ、また引張り力がなくなれば、口出し線に生じた被覆の変形も全く無くなるものである。

上記したところを総合して、本発明によれば、口出し線のリセプタクルとタブ端子との接続部にたいする引張り力の影響を無くすことができるとともに、口出し線の被覆の変形<sup>損傷</sup>も生じさせないと<sup>3番目</sup>いう効果を所期することができるものであつて、実用上、すぐれた発明といいうことができる。

#### 図面の簡単な説明

第1図のイは、本発明装置の一実施例に係るものをしてした電動機の正面図、同図のロは、その一部断面側面図、第2図は、そのカバーを取りはずし、その口出し線の引出し様子を示す部分正面図、第3図のイは、同じくその口出し線を絶縁板に通

(4)

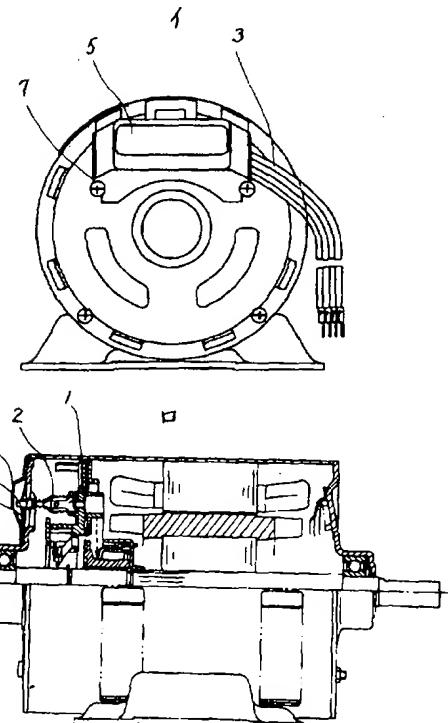
したものとの側断面図、同図のロは、その正面図である。

1…口出し線タブ端子、2…リセプタクル、3…口出し線、4…絶縁板、5…カバー、6…エンドプラケット。

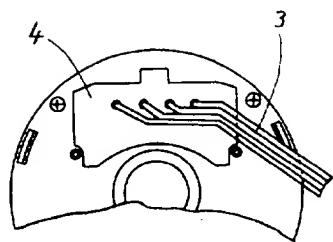
代理人 弁理士 福田幸作

(5)

第1図



第2図



第3図

